

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 16 日現在

機関番号：82619

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2013

課題番号：24700941

研究課題名(和文) 寄贈品に見る草創期の博物館におけるコレクション形成と美術品の移動

研究課題名(英文) Collection Formation in the first stage of the Museum in Meiji era with focus on Gifts and Donators

研究代表者

三輪 紫都香(河上紫都香)(Sizuka, MIWA)

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館・学芸研究部列品管理課登録室・アソシエイトフェロー

研究者番号：60555019

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 900,000円、(間接経費) 270,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、博物館における寄贈品と寄贈者に関する情報から明治初期の博物館収蔵品コレクションの形成について明らかにしようとするものである。明治期の博物館の歴史を明らかにすることは、近代化に向かう日本が文化財や美術といったものをどのように捉え、活動していたのかを明らかにすることであり、歴史学、美術史学、博物館学いずれにおいても重要である。そこで、日本で最も歴史の長い東京国立博物館の寄贈品と寄贈者を対象として基礎情報のデータベース作成を試みた。対象は博物館の草創期といわれる明治初年から明治19年に限定した。調査の結果、1112名の寄贈者と約5400件の寄贈に関して情報を収集することができた。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to clarify the collection formation in the first stage of the museum in Meiji era with focus on gifts and donators. Clarifying history of the museum of the Meiji era is to reveal how Japan, which went to modernization, treated cultural assets and fine arts. And, clarifying history of the museum of the Meiji era is also important on any of history, art history, and museum studies.

Therefore, this study established a database of basic information for gifts and donators of the Tokyo National Museum, which has the longest history in Japan. The database has gifts and donators from Meiji 1st year to Meiji 19th year. This study collected information regarding 1112 donators and 5400 gifts.

研究分野：博物館学

科研費の分科・細目：博物館学・博物館学

キーワード：博物館学 美術史学 歴史学 寄贈者 寄贈品 博物館コレクション

1. 研究開始当初の背景

(1) 博物館における研究の状況

東京国立博物館はおよそ 11 万件の収蔵品を有しているが、そのうち 5 万件以上が寄贈によるものであり、全収蔵品に占める寄贈品の割合は大きい。寄贈者に関する調査は作品によって行われているものと行われていないものが混在しており、寄贈者に焦点を当てた詳細な調査はこれまで行われてこなかった。しかし、寄贈者に関する情報は作品の伝来や性質を検証する上で重要であり、当館の歴史を明らかにする上でも有益である。

(2) 先行研究

寄贈品に関連する研究としては美術品の移動に関する研究とコレクション形成に関する研究が挙げられる。前者はコレクターや美術品に着目し、収集や移動の歴史を研究したもので、貴重な文化財の伝来を知ることができる。幕末からの美術品の移動に関して著したものに高橋義雄氏の『近世道具移動史』(廣文堂書店、1929 年)がある。高橋氏は様々な「道具」について、幕末より昭和初期までを 3 期に分け、その時代の出来事や世情と関連付けて美術品移動の歴史を著述している。一方、田中日佐夫氏は『美術品移動史 近代日本のコレクターたち』(日本経済新聞社、1981 年)において、30 名余りのコレクターに着目し、収集された美術品とともに紹介している。

後者は主に私的なコレクションについて、歴史的背景からその特質を考察している。佐藤道信氏は明治期以降のコレクションについて日本における古美術品の海外流出と、産業としての美術品輸出の中で国内外において形成された公私のコレクションに分け、価値観の変化とともにその特質を考察している(『歴史史料としてのコレクション』、『近代画説』第 2 号、1993 年)。

両者は個人コレクションについて深く言及しているが博物館の作品収集についてはあまり触れておらず、公的な施設におけるコレクションの形成についてはほとんど研究されていないのが現状と言える。

2. 研究の目的

本研究の目的は寄贈品から草創期の博物館のコレクション形成とそれに関わる人々の歴史的な性格について明らかにすること、美術品がどのように移動し、博物館に収蔵されることとなったのかを明らかにすることにある。

本研究では博物館の草創期といわれる明治初年から明治 19 年に限定して、どのような人が、どのようなものを、いつ寄贈したのか、寄贈品と寄贈者の基礎情報のデータベース作成を試みる。そして、明治初期の博物館におけるコレクション形成に寄贈がどう影響していたか考察したい。

明治初期の美術品の移動についての研究

は、単に急激な変化を遂げた時代の美術品について明らかになるだけではなく、価値観や世情も写し出すものであり、美術史学、歴史学、博物館学と分野をまたいだ研究をするための基礎となる研究である。また、寄贈品と寄贈者の正確な情報が集約されることでそれぞれの作品研究が円滑に進むと考えられる。現在の東京国立博物館においては作品研究の際に伝来を知りたいと思っても、情報が集約されたデータベースは存在しないため、個別に館史資料にあたり、一から調査しなくてはならない状況であるが、本研究の成果の活用により必要な情報に迅速に到達できるようになると思われる。

3. 研究の方法

(1) 寄贈品に関する基本的な情報の整備

東京国立博物館の収蔵品は現在「新列品管理簿」という電子データを拠り所として学芸業務上の管理を行っている。寄贈品に関する情報はこの「新列品管理簿」と、開館当初からの博物館の業務や収蔵品に関する公文書である館史資料のうち、主に「美術品台帳」や「列品記載簿」、「列品録」に見ることができる。

「美術品台帳」、「列品記載簿」は収蔵品の基本データを番号順に記載したもので、「列品録」は年度ごとに取得・廃棄した収蔵品の伝来や取得に至るまでの取得先とのやりとりなどについての文書を編綴したものである。前者は収蔵品として管理する作品すべての情報が得られるが、絵画や書跡、工芸といった分野ごとに分けられ、さらに寄贈以外によって取得された収蔵品と台帳を同じくして管理されているため、寄贈者ごとの収蔵品を把握することが困難な状況にある。後者に関しては受け入れを同じくする作品は分野に関係なく一緒に記載されており、前者よりもやや詳細な伝来が記録されている。しかし大正期に行われた資料整理の段階で取捨選択がなされ、すべての記録が残っていないため作品によっては全く記録がないものもある。

本研究では、まず基礎データとして現行の収蔵品データである「新列品管理簿」から伝来が「寄贈」「引継」「伝来未詳」となっている作品を抽出し、館史資料の「美術品台帳」、「列品記載簿」、「列品録」を参照して寄贈作品と寄贈者を特定してゆく。さらに、館史資料からは現在は収蔵品として「新列品管理簿」に掲載されていない作品や寄贈者の情報が判明すると想定される。

(2) 寄贈者に関する情報の収集

博物館における寄贈者の情報

「新列品管理簿」及び館史資料から判明する寄贈者に関する情報は大半が住所と氏名のみにとどまっている。そのため、寄贈者が著名な人物であれば人物辞典などから特定することも可能だが、あまり知られていない

人物の場合特定に至ることは難しい。これまでに研究されていない人物からの寄贈による作品は来歴を調べる際に非常に手間がかかるのが現状である。

情報収集の手段

本研究では寄贈者がどのような人物であったのか、社会的な身分や美術に関して専門にしている分野、趣向などの情報を収集する。個人の特定には人物辞典をはじめ、各地で編纂された地方史や、当時の職員録等を活用し、情報を収集する。

住所と氏名のみから人物の特定を行うのは非常に困難な作業であり、調査の手がかりを見つけないことができない事例も出ることが予想された。そういった中に新たに興味深いコレクターの存在が埋もれている可能性も高いと考えられる。寄贈者の情報が判明する、しないという情報も含めてデータベースを作成することで、今後の作品研究の一助となることを期待するものである。

4. 研究成果

(1) 寄贈者情報データベースの概要

寄贈品

「新列品管理簿」及び館史資料から得られた対象年代の寄贈品の総数はおよそ 5700 件であったが、そのうち約 2400 件は現在も東京国立博物館の収蔵品として管理されていることが判明した。その他は廃棄や管理換に伴い現在は「新列品管理簿」から除却されているものであるが、列品録から判明した作品に関しては収蔵品番号が特定できないものも含まれる。また、「新列品管理簿」及び「列品記載簿」には大正時代まで存在した天産部の収蔵品の情報は含まれないが、前述のとおり「列品録」には分野は関係なく永久保存と判断された受入れ情報が記載されているため、断片的な天産部の情報が含まれる。

寄贈者

寄贈品の情報から得られた寄贈者名は 1112 名に上る。そのうち、調査により氏名と住所以外の何らかの情報が得られたのは 476 名である。また、寄贈者名から推測して個人ではなく会社や組織など団体と思われる寄贈者は 76 件確認できた。

(2) 寄贈者情報の詳細

寄贈年年度毎の数値

寄贈者の大半は一度に寄贈を行っているが、中には複数回にわたって寄贈を行っている場合もある。今回のデータベースでは寄贈初年をその寄贈者の寄贈年とし、氏名が判明した段階で寄贈年の中で通番を振って寄贈者番号とした。また、対象とした年代の寄贈者であることは明らかだが寄贈年が判明していない人物に関しては寄贈年を「不明」として別に通番を振った。以下は寄贈者番号ごとの寄贈者数である。

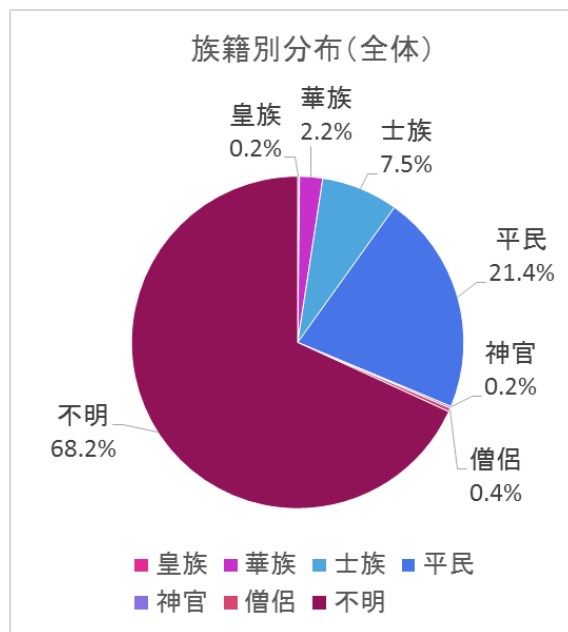
明治 4 年 : 5 名	明治 12 年 : 15 名
明治 5 年 : 26 名	明治 13 年 : 27 名
明治 6 年 : 27 名	明治 14 年 : 197 名
明治 7 年 : 23 名	明治 15 年 : 36 名
明治 8 年 : 49 名	明治 16 年 : 417 名
明治 9 年 : 33 名	明治 17 年 : 19 名
明治 10 年 : 32 名	明治 18 年 : 38 名
明治 11 年 : 50 名	明治 19 年 : 37 名
	不明 : 81 名

明治 14 年と明治 16 年の寄贈者数は第二回国勸業博覧会（明治 14 年）の出品者及び水産博覧会（明治 16 年）の出品者による寄贈により多くなっている。当館にすべての記録は残っていないことを前提にしてもこのような博覧会に際しての寄贈例が複数確認できることから、こういった催しが開催される度にまとまった寄贈を受けていたと考えられる。行事がなかった年度では年間 25～50 名の幅で寄贈が行われている。

族籍別数値

個人のうち、族籍が判明した寄贈者の内訳は以下のようになっている。

皇族 : 2 名
華族 : 25 名
士族 : 83 名
平民 : 238 名
神官 : 2 名
僧侶 : 4 名



華族及び士族は人物辞典に掲載されている寄贈者も多く見られた。平民に関しては人物辞典から判明した例も見られるが、多くは館史資料において族籍が明記されていたものである。特に、水産博覧会（明治 16 年）の出品者に関してはまとまった記録が列品録に残っていたため出品者の族籍に関して情報が得られた。

職業

主な職業としては官吏、政治家、企業家、芸術家、職人など多様な職種がみられる。そのうち、博物館に関係する職業に携わっていた人物は現状で 46 名確認されている。

(3)今後の課題

本研究ではこれまでに資料から確認した寄贈者について継続して調査を行っているが、上記の 1112 名は現在の収蔵品をベースに得られたデータであり、大正 13 年に廃止となった天産部の資料を網羅的に調査できていないのが現状である。東京国立博物館には天産部の「美術品台帳」が残されているため、今後調査を行うことで更に新しい寄贈者が明らかになると思われる。また、現段階でも想定を超える寄贈者名が判明しており、人物特定のための調査に時間が必要であるため丁寧に文献調査を進めていきたい。

さらに、本研究の発展のためには広く情報を発信し、様々な分野の方々に知っていただくことが重要と考えられるが、個人情報であることをふまえ、適切な形でデータベースの公開を行うことを今後の課題としたい。

5. 主な発表論文等

〔学会発表〕(計 1 件)

三輪紫都香「明治期における博物館への寄贈者について」

アート・ドキュメンテーション学会

2014 年度研究発表会

6. 研究組織

(1)研究代表者

三輪 紫都香 (MIWA, Shizuka)

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館, 学芸研究部列品管理課登録室,
アソシエイトフェロー

研究者番号: 60555019

(2)研究協力者

田良島 哲 (TARASHIMA, Satoshi)

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館, 学芸研究部調査研究課, 課長

研究者番号: 60370996